

# KKR高松病院

|              |   |      |            |
|--------------|---|------|------------|
| 実施日          | 令和7年8月8日（金）   | 実施時間 | 9:00～16:00 |
| 参加人数<br>計 6名 | 小学生0名（男0名・女0名）<br>中学生3名（男0名・女3名）<br>高校生3名（男3名・女0名）<br>その他0名（男0名・女0名）  |      |            |
| 実施<br>プログラム  | <ul style="list-style-type: none"><li>・院長、看護部長挨拶 担当者挨拶・参加者自己紹介</li><li>・記念写真</li><li>・看護部長からスライドを用いて当院紹介</li><li>・各病棟で看護体験（足浴・検査までの移送・車いす体験等）</li><li>・栄養士からの病院食説明、病院食の試食</li><li>・BLS（胸骨圧迫・AED使用の実践）</li><li>・院内オリエンテーション（OP室見学、リハビリ見学等）</li><li>・看護師との交流会（質問等）</li></ul>                                    |      |            |
| 実施内容         | <p>今年度は中学生3名（女子）・高校生3名（男子）が参加されました。全員将来は看護師を目指しており、実際白衣に着替えて様々なことを体験していただきました。午前2名ずつに分かれ、急性期病棟で実際の患者様に接しとても緊張した様子でしたが、実際に看護師が看護をしている姿をみることができ、目を輝かせていたのがとても印象的でした。午後から救急認定看護師指導のもと、救命処置について講義と実際に胸骨圧迫を体験しました。練習を重ねる毎に声掛けも大きくなり、看護師になった自分を想像することができ、より看護に対する興味が深まったと思います。本日のふれあい看護体験が、今後の進路に役立つことを願っております。</p> |      |            |

## 参加者の声

私は看護師になりたいと思っています。病院の中はドラマでしか見たことなかったもので、とても楽しみでした。担当してくれた看護師さんは、緊張している私に優しく声をかけてくれて、分かりやすく説明をしてくれました。緊張も少しほぐれたところで、実際に患者さんの体を拭かせてもらいました。自分の体を拭くのとは違い、力加減が難しかったです。また、声をかけながら行うということも、どんな声をかけたら良いのか戸惑ってしまいました。自然に患者さんに声をかけられている看護師さんがかっこいいと思いました。

昼食時、飲み込むことが難しい人に用意されている形状の病院食を試食させてもらいました。食べたことのない食感と味で自分には合わないと思ったけど、患者さんに合わせた食事が用意されている事を知ることができました。

また、BLS を体験させてもらいました。人が倒れているのを見つけたら声をかけて、意識がなかったら周りの人に助けを求めて、呼吸を確認して、呼吸してなかったら心臓マッサージ、という流れを簡単そうだと思っていたけど、実際にしてみると心臓マッサージをすることばかり考えて呼吸を確認できていませんでした。冷静になる、勇気を出す、その行動で相手の命を助けることができるかも知れないと思うと頑張れました。

高松病院の理念として掲げられていた「働きたい、働いて良かった、患者さんがかかって良かった」というフレーズ通り、みなさん優しく関わってくれて、私もこんな病院で働きたいと思いました。

ふれあい看護体験に参加することで、実際に患者さんと関わることは難しいと思ったけど、患者さんからの「ありがとう」が、とても嬉しかったです。笑顔で患者さんに関われる看護師になりたいと強く思いました。